

# 非製造業では人手不足の対応に苦慮

## 10月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

依然として国内需要の低迷・海外経済の減速懸念により今後の不透明感が続く見込みで、厳しい状況には変化がない様子である。また、非製造業では人手不足に悩んでいる業種も多く、今後の対応に苦慮している。

製造業	食料品		パンは原材料の高騰で仕入の苦労が続いている。菓子は天候に恵まれ行事も多く、落ち込みなく例年並みに推移している。製麺は生・乾麺とも企業間格差が散見される。酒造は吟醸・純米系是好調、普通酒と本醸造酒は低調である。
	繊維・同製品		桐生織物は和装織物の展示販売会等を開催するも低調に推移している。伊勢崎織物は贈答用として服飾工芸品の需要が多いが、原材料の高止まりで厳しさが続いている。繊維製品は温暖なため秋冬物の取引が遅れている。
	窯業・土石製品		生コンは渋川・吾妻地区の出荷量は伸びたが全体的には低調に推移している。コンクリートブロックは住宅着工戸数が回復傾向で今後に期待している。コンクリート製品は売上がマイナスで推移。碎石は販売価格上昇も売上が減少している。
	機械・金属		中国経済減速や国内在庫調整等の影響による業況の冷え込みを不安視。プラスチック型金は受注が回復傾向である。鍍金は比較的安定推移したが、今後を懸念。大手企業の賃上げに伴うコストダウン要請が散見される。
	その他の製造業		木材は原材料高の製品安が続いている。紙加工品は、通販・食品・自動車関連等は引き続き好調だが、販売価格の下落傾向がみられ、全体的には厳しい状況が続いている。印刷は大・小規模問わず、業界全体で2-3割の売上が減少している。
非製造業	卸売業		太田卸団地は非鉄金属卸が自動車メーカー等の海外進出に伴い売上が減少傾向である。高崎卸団地はマイナンバー導入で事務量の増加に苦慮している。農産物卸は野菜の高値が続き売上が増加している。水産物卸は鍋の季節となり今後に期待している。
	小売業		家電小売は高価格の4Kテレビが売上を押し上げている。自動車小売はオークションの出品件数が若干減少するも成約単価は上昇している。商店街は秋物商品のバーゲン期だが人出が少なく。燃料小売は前年比30円/ℓ安が続いている。
	サービス業		温泉旅館は天候に恵まれた紅葉シーズンに加え、プレミアム宿泊券の利用率上昇により売上が増加したが、人手不足が今後の課題である。建物設計は住宅着工戸数の伸びに伴い、住宅設計監理も同様に前年比増の傾向で今後に期待している。
	建設業		防水工事の仕事量は増えつつあるが、苦戦が続いている。電気工事は大・小規模による受注の二極化が見られ、小規模は厳しい状況が続いている。塗装工事は人手不足により工期の対応に苦慮している。鉄構は見積もり物件が減少している。
	運輸業		自動車・機械関連は減少し、全体としても荷動きは低調に推移している。労働時間短縮のため高速道路利用料が増加、年末に向けて人手不足を懸念している。小口輸送は医薬品輸送が堅調で件数は増加するも全体的な売上は減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 110.8(前月比▲0.4%)「県統計課・9月」
- 販売電力量 121,798万KWh(前年同月比▲2.8%)「東電群馬総社・9月」
- 住宅着工戸数 1,258戸(前年同月比+45.4%)「県建築住宅課・9月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.85倍・有効1.30倍「群馬労働局・9月」
- 大型小売店販売額 190億円(前年同月比+4.4%)「経済産業省・9月」
- 消費者物価指数(全国) 103.9(前年同月比+0.1%)「総務省統計局・9月」  
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)